

11. 高血圧をそのままにしておくとうなるのでしょうか？

高血圧では、血管の壁に常時強い圧力がかかっているため、血管が傷害されます。血管抵抗が大きくなると、血流が低下するので、心臓は無理して血液を送り出そうと頑張ります。心臓の筋肉は肥大し、心肥大を起してきます。肥大した心筋を養うために、ますます心筋への血液供給を増やす必要性が増大し、心臓に大きな負担をかけていきます。

心筋に血液を運んでいるのは冠状動脈と呼ばれます。冠状動脈の障害が起ると、狭心症や心筋梗塞が発症してきます。強い胸の痛みから、心臓突然死のおそれが出てきます。

脳の血管が傷んでくると、血管の壁がもろくなり、脳出血が起ります。くも膜下出血も起こってきます。脳の血管が傷つくと、血栓が出来易くなります。血栓のために、血行が悪くなると、脳神経細胞がダメージを受けて、物忘れがひどくなり、認知症が発病してきます。小さい脳梗塞から比較的大きな脳梗塞まで発症してきます。半身不随、言語障害や意識障害などがあらわれてきます。

腎臓の動脈が傷害されると、腎機能が低下するとともに、ますます血圧が上昇して、悪循環をひきおこします。

高血圧で血管壁に強い圧力が加わるために、動脈にこぶ状のふくらみが出来る動脈瘤が発生してくることもあります。血管壁が裂けたり、動脈瘤が破裂したりして、強い痛みとともに、生命が危険にさらされます。